

IV 良質な個別サービスの実施(高齢者福祉施設)

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
A-1 利用者の尊重						
(1) 利用者の尊重						
1	1	○				接遇マニュアルが整備され、接遇に関する研修会を施設内で行うなど利用者との信頼関係を構築するため、積極的な取組が確認されたのでa評価とした。
2	2	○				利用者の意向や希望を確認し個別支援を行っていることが確認されたためa評価とした。
(2) 利用者の権利擁護						
3	1	○				職員行動規範の中に「個人の尊厳への配慮」が記載され、虐待防止や身体拘束廃止などのマニュアルが整備されるとともに、施設内研修を行っていることも確認されたのでa評価とした。
(3) 家族との連携・交流						
4	1		○			家族へ施設行事への案内文が送付され、ホームページにも掲載が行われており、利用者の状況や預り金の出納なども定期的に家族へ伝えられていること等が確認されたが家族会が開かれていないのでb評価とした。
(4) 生活環境づくり						
5	1	○				全居室は個室でプライバシーが保護されているとともに、本人の意向に応じ家具や寝具など私物の持ち込みがされており、利用者の過ごしやすい環境づくりに取り組まれていることが確認されたのでa評価とした。
(5) 終末期ケア						
6	1				○	非該当
A-2 日常生活支援						
(1) 食事						
7	1	○				サービス実施計画に基づいて利用者の状態や希望に応じ、治療食やミキサー食、きざみ食の提供を行っており、各利用者の食事箋を食堂に準備し留意点の徹底を図る取組も確認されたためa評価とした。
8	2	○				半年に一度嗜好アンケートが実施され、給食委員会においてその内容を検討し、3ヶ月のサイクルメニューに活かすと共に、管理栄養士が配膳時食事時には利用者に対面して評価を聞くなど美味しく楽しく食べられる工夫が確認されたためa評価とした。
9	3	○				海を見渡せる、明るく和やかな食堂が整備され、食事についてはある程度の時間の幅で利用者が好みに食べられる体制があり、体調や希望により居室で食べることができるなど、喫食環境に配慮されていることが確認されたためa評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(2) 入浴						
10	1	入浴は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			入浴マニュアルが整備され、利用者の身体状況や介助方法がサービス実施計画に位置付けられるとともに、日々のバイタルや入浴状況について個別のリストが作られていることが確認されたためa評価とした。
11	2	入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	○			利用者が持ち込んだシャンプーなどが用意され、入浴の曜日や時間の制約はあるものの、希望に応じて回数や時間帯の変更が行われ、失禁や汗をかいた時も必要に応じ対応していることが確認されたためa評価とした。
12	3	浴室・脱衣場等の環境に配慮している。	○			明るい展望風呂からは海が見わたせ、空調設備の整備はもちろん、入浴器具等の設備面も検討され改善が図られていることが確認されたためa評価とした。
(3) 排泄						
13	1	排泄介助は利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			排泄マニュアルを基に個別のサービス実施計画が作成され、排泄の状況については個別チェックリストが整備されていることが確認されたためa評価とした。
14	2	トイレ環境に配慮している。	○			全居室が個室で、職員の巡回時にトイレ汚染があった場合は直ちに対応するなど、トイレ環境に配慮されていることが確認されたためa評価とした。
(4) 移乗・移動						
15	1	移乗・移動介助は、利用者の身体状況や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			移動・移乗マニュアルに基づき、利用者の身体状況に応じて個別のサービス実施計画が策定されていることが確認されたためa評価とした。
(5) 外部介護サービスの利用						
16	1	外部の介護サービスの利用ができるよう必要な支援を行っている。			○	非該当
(6) 認知症利用者への対応						
17	1	認知症利用者への対応が適切に行われている。	○			認知症に関する研修会が実施され、実際の認知症利用者には居室内にわかりやすい張り紙での表示するなど個別に対応されれていることが確認されたためa評価とした。
(7) 整容						
18	1	利用者の身だしなみや清潔への配慮について支援が行われている。	○			利用者の身体状況や好みに応じて介助が行われており、個別に手の汚れや服装をチェックし清潔保持に努力している。また衣類の購入には個別又は買い物ツアーでの支援など希望に応じた支援が行われていることが確認されたためa評価とした。
19	2	利用者の個性や好みを尊重し、理容・美容への支援を行っている。	○			定期的に地域の理美容店の協力により、施設内で理美容を提供するとともに、希望によっては施設外の馴染みの理美容店を利用する方もいるなど利用者の個性や好みを尊重していることが確認されたためa評価とした。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(8) 睡眠						
20	1	安眠できるように配慮している。	○			全居室が個室でベッドや寝具など利用者の私物が持ち込まれ、個人にあった環境で安眠できるよう配慮されていることが確認されたためa評価とした。
(9) 健康管理						
21	1	日常の健康管理は適切である。	○			利用者各人のバイタルチェック表が整備され、看護師による健康相談が受けられるとともに、月1回の定期受診が行われていた。またノルディックウォークの導入など健康維持・増進のための取組が行われていることが確認されたためa評価とした。
22	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			隣接の協力病院である国立病院機構柳井医療センターと日常的な連携が図られ、必要な時に、迅速かつ適切な医療が受けられる環境が整備されていることからa評価とした。
23	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	○			服薬管理マニュアルが整備され薬は投薬庫において保管し、看護師と介護職それぞれによるWチェックにより誤薬がないように管理が十分行われていることが確認されたためa評価とした。
(10) 外泊、外出						
24	1	外出、外泊は利用者の希望に応じて行われている。	○			利用者や家族の希望により所定の様式で外泊や外出が行われていることが確認されたためa評価とした。
(11) 所持金・預かり金の管理						
25	1	預かり金について、適切な管理体制が作られている。	○			金銭管理ができる方はそれぞれの居室において、金銭の預かりが必要な方は金銭預り・管理マニュアルにより適切な管理が行われていることが確認されたためa評価とした。
A-3 自立支援						
(1) 機能回復						
26	1	利用者の心身の状況に応じた機能回復の支援が適切に行われている。		○		希望に応じリハビリ体操やノルディックウォークなど機能維持や向上への取組が行われているものの、利用者一人ひとりの身体状況に応じた計画や個別の支援までいたっていないためb評価とした。
(2) 生きがいづくり						
27	1	利用者の余暇活動や生きがいづくりへの支援が適切に行われている。	○			利用者の余暇活動支援として、毎週実施される買い物ツアーやレクリエーション、カラオケ、お達者クラブ、毎月実施されるお楽しみ会や地域行事など様々なプログラムがあり、利用者が主体的に参加できるよう呼びかけが行われていることが確認されたためa評価とした。
(3) 地域生活への移行						
28	1	利用者の状況に応じ、地域生活への移行についての支援を行っている。			○	利用者の地域生活の移行については体制は整っているが、要望がなく事例もないため非該当とした。